

まなび野洲検定 図書館とのコラボ



『まなび野洲検定とは』

野洲の自然や歴史的人物、伝説などのいろいろな内容を小学生向けにまとめた『まなび野洲検定テキスト』として毎年発行しています。

それを活用し、**野洲へのほこりと愛**を持つことができる子どもの育成を目指して、小学校4年生～6年生向けに2010年から取り組まれている検定のことです。

問題数は全部で30問【3点×30問+10点（基礎点）＝100点】の検定です。9月に市内の各小学校で検定を実施します。

検定級

- 1級 90点以上（27問以上正解）
- 2級 75点以上（22問以上正解）
- 3級 60点以上（17問以上正解）



過去問題（10問バージョン）は、上のQRコードを読み込めば、チャレンジできるよ！

まなび野洲検定 2025 受検者に聞いた

興味を持った内容 TOP⑩

1位	わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ	4位	野洲市民憲章、野洲市の花・木・鳥
2位	三上山	5位	北村季吟
3位	依藤太の ムカデ退治	6位	西川貴教
		7位	野洲市の巨木・名木
		8位	みかちゃんメロン
		9位	野洲市
		10位	銅鐸博物館

野洲市教育研究所では、野洲市教育委員会の指定事業として、毎年、「まなび野洲検定」を企画・運営しています。市内小学校4～6年生の中で希望した児童が、『まなび野洲検定テキスト』を7月に受け取り、一夏、見識を広げ、9月に各校で『まなび野洲検定』を受検しています。これらの取り組みを通して、郷土の自然や歴史、人物、産業などについて興味と関心を持ってもらえるとよいです。

6 御上神社

御上神社は、「近江富士」で有名な三上山（標高432m）の麓にあり、三上山を神体山としています。三上山の頂上には、巖窟が祀られていて、旧暦6月18日には竜王祭（山王祭）が行われています。

創建	孝徳天皇6年6月18日に、天竺御影神が三上山に降りてこられ、その後、718（養老2）年3月15日に藤原不比等の命により現在地に社殿が造られたとされています。
ご祭神	（本殿）天竺御影神…神籬上の神様で天照大神の孫 金甕瓊治の神様
社殿	境内の主要な社殿は、鎌倉時代後期の14世紀初めごろ整備されたと考えられ、本殿・拝殿・楼門をはじめ貴重な建造物が今に残っています。特に約700年前に建造された本殿は、造営所神社建築の国指定第1号に認定されました。国の重要文化財としては、拝殿、楼門、熊手宮神社本殿などがあります。

（本殿）

※ 神体山…神道において、神が宿るとされる山のこと。※ 五穀豊穡…穀物が豊かに実ること。

7 兵主大社

「兵主」の神は、全国に50近く祀られていますが、野洲市五家に鎮座する「兵主大社」は、穴師坐兵主神社（奈良県）や兵主神社（岐阜県）と並ぶ格式の高い神社で、県下でも有数の古い神社です。2018年には「国指定の史跡名勝地及び文化財」で日本遺産に認定されました。

創建	奈良時代の718（養老2）年に、琵琶湖の湖西に位置する白雲大社より、白蛇の姿と化した神様（八咫矛神）が、大蛇の甲に乗り琵琶湖をわたり、麓に乗ってこの地にこられたと伝えられています。
ご祭神	八咫矛神
社殿	「兵主」を「つわものぬし」とも読めることから、甲斐には武將の信仰が厚く、「源」姓や足利尊氏による社殿の造営をはじめ、多数の武器・武具類の寄進があり、神社の宝として今も大切に保存されています。神社境内への入口には、足利尊氏の寄進と伝えられる茶室の楼門があり、県の有形文化財に指定されています。
庭園	社殿南には国の名勝に指定された庭園（約22,000㎡）が広がっています。平安時代後期の作といわれ、中心の池に水を引くための水路、排出するための排水路が整備されています。また、水の流れを利用して祭事が行われていたことを裏付ける土器の出土もあり、神社内に穴師座庭園が築かれていたことがわかっています。

（庭園）

※ 鎮座…神がその地にしますこと。※ 社殿の造営…神社を建てること。



☞テキストより

☞野洲図書館での企画展

4月24日（金）～5月8日（金）には、野洲図書館に協力をいただき、テキスト類や関連図書の展示を行いました。お住まいの地域のこととあってか、幾人もの方に足を止めてご覧いただき、持ち帰り用過去問（10問抜粋編）はご用意した30部が数日で残りわずかとなったため追加し、関連図書には計12冊の貸出がありました。

別紙に今年度の園校内研究の一覧を載せています。